

農産物輸送のパレット化による手荷役時間の削減

実施主体

全農物流(株)

事業内容及び特徴

トラック積込が手荷役作業となっているためトラックドライバーの作業時間および作業負担ともに大きくなっている青果物輸送において、出荷施設でのレンタルパレット導入による機械荷役化に取り組むことにより、トラックドライバーの作業時間短縮と作業負担軽減を図るとともに、青果物輸送のイメージアップによる輸送力確保を図る。

BEFORE



AFTER



スケジュール

- 4月: 発・着荷主及び運送事業者間での調整
- 5月: 実証試験輸送計画の策定
- 6~7月: 実証試験の実施(試験輸送6回予定)
- 8月: 結果とりまとめ(効果の算出及び課題・改善策の検討)

効果

- パレット化によるドライバーの荷役作業時間削減
- 乗り捨て方式による回収および紛失補填の削減
- 帰り荷の選択肢拡大による輸送車両条件の緩和(=輸送力確保)
- 青果物輸送イメージアップによる輸送参入業者の増加(=輸送力拡大)